

# 新光ブラジル債券ファンド

## 追加型投信／海外／債券

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ブラジルリアル建てのブラジル国債に実質的に投資することによって、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指すことを目的として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年6月9日～2022年12月8日

第161期	決算日：2022年7月8日	
第162期	決算日：2022年8月8日	
第163期	決算日：2022年9月8日	
第164期	決算日：2022年10月11日	
第165期	決算日：2022年11月8日	
第166期	決算日：2022年12月8日	
第166期末 (2022年12月8日)	基準価額	1,528円
	純資産総額	15,911百万円
第161期～ 第166期	騰落率	△1.5%
	分配金合計	18円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

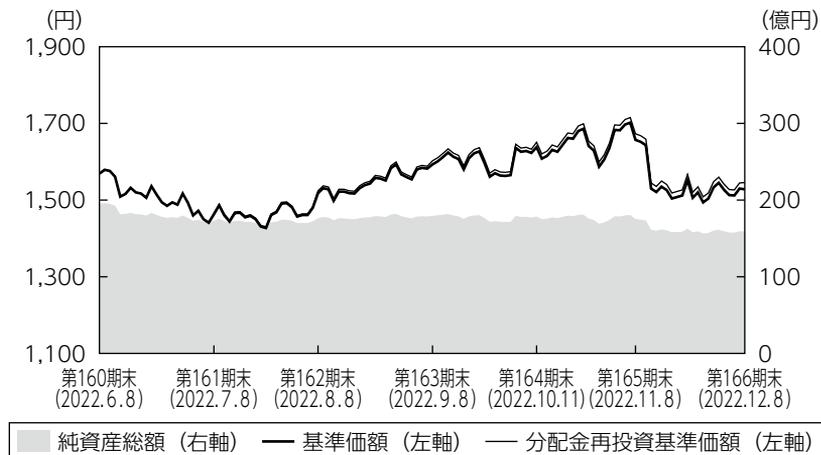
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第161期首： 1,569円  
 第166期末： 1,528円  
 (既払分配金18円)  
 騰落率： △1.5%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ（以下、ブラジルボンド・ファンド）投資証券等への投資を通じてブラジルレアル建てのブラジル国債などに投資を行いました。その結果、債券市場が底堅く推移した一方で、ブラジルレアルが対円で下落したことから基準価額は下落しました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第161期～第166期 (2022年6月9日 ～2022年12月8日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	10円	
(投信会社)	( 4)	(0.246)	
(販売会社)	( 6)	(0.384)	
(受託会社)	( 0)	(0.025)	
(b) その他費用	1	0.082	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	( 1)	(0.082)	
(監査費用)	( 0)	(0.000)	
合計	11	0.737	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

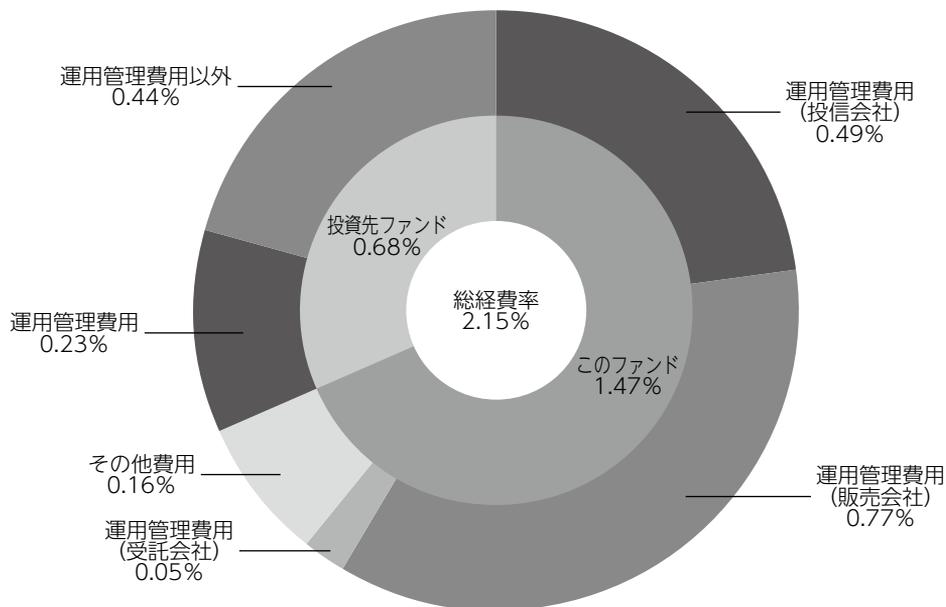
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.15%です。



総経費率 (①+②+③)	2.15%
①このファンドの費用の比率	1.47%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.44%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

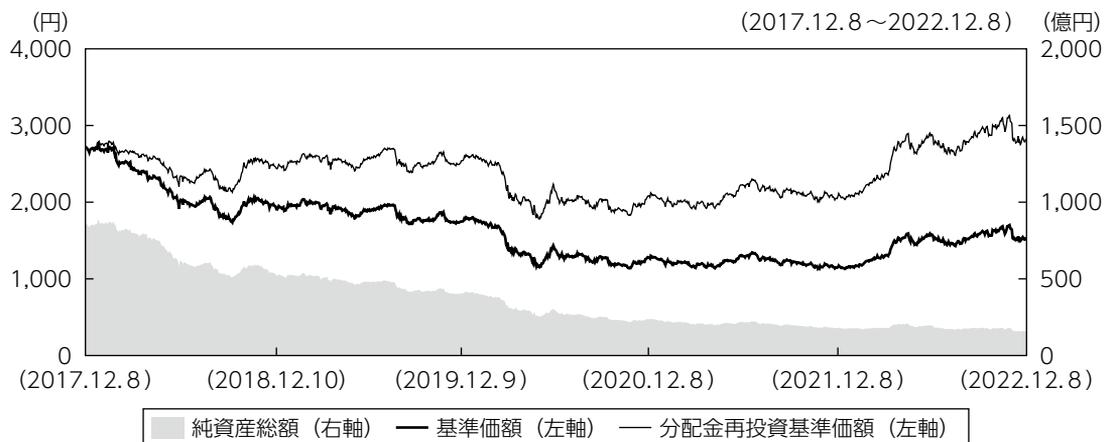
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

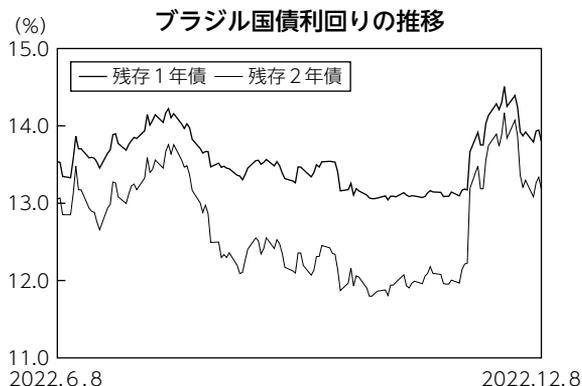
(注3) 分配金再投資基準価額は、2017年12月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2017年12月8日 期首	2018年12月10日 決算日	2019年12月9日 決算日	2020年12月8日 決算日	2021年12月8日 決算日	2022年12月8日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	2,703	1,908	1,747	1,277	1,152	1,528
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	545	240	160	120	36
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△9.8	4.1	△17.9	△0.4	36.0
純資産総額 (百万円)	85,282	52,037	40,448	23,709	17,886	15,911

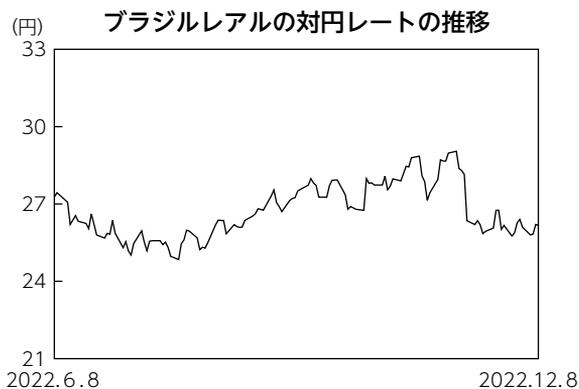
(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

## 投資環境

ブラジル債券市場は、上昇しました。中央銀行が利上げ継続スタンスを示したため、7月中旬にかけては上値の重い展開となりました。その後は、物価水準にピークアウト感がみられたことや中央銀行が9月以降、金利据え置きに転じたことなどから、堅調に推移しました。11月に次期政権による貧困対策が財政悪化を招くとの見方から、一時的に下落する局面もありましたが、作成期末にかけては、再度上昇しました。



ブラジルレアルは、作成期初から7月中旬にかけて、米国での積極的な利上げによる景気減速リスク浮上で、商品価格が軟調となったことから下落しました。その後、ブラジル中銀は9月以降、金利据え置きに転じましたが、タカ派の声明が継続した一方で、日銀は金融緩和姿勢を継続したため、レアルは上昇しました。作成期末にかけては、米消費者物価指数が予想を下回り、米国での利上げペース鈍化観測から米ドルが対円で下落したことを受け、レアルも対円で下落しました。



国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

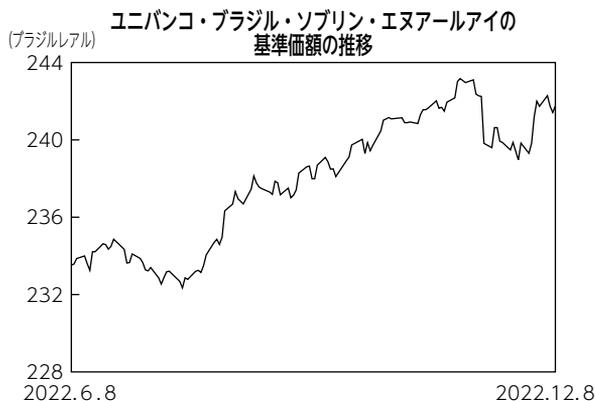
## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

資金動向に応じてブラジル債券・ファンドの売買を行い、作成期間を通じてブラジル債券・ファンドの高位組入れを維持しました。また、短期公社債マザーファンドへの投資も継続しました。

### ●ブラジル債券・ファンド

安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルレアル建てのブラジル国債を高位に組み入れて運用を行いました。当作成期間においては、引き続き物価連動債と変動金利国債を中心にポートフォリオを構築しました。デフレーションに関しては、物価水準にピークアウト感がみられたことから9月に長期化しましたが、その後は次期政権による財政悪化を懸念して短期化しました。



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

### ●短期公社債マザーファンド

当期間中はコールローンで運用を行いました。

## 分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期
	2022年6月9日 ~2022年7月8日	2022年7月9日 ~2022年8月8日	2022年8月9日 ~2022年9月8日	2022年9月9日 ~2022年10月11日	2022年10月12日 ~2022年11月8日	2022年11月9日 ~2022年12月8日
当期分配金（税引前）	3円	3円	3円	3円	3円	3円
対基準価額比率	0.20%	0.20%	0.19%	0.18%	0.18%	0.20%
当期の収益	3円	3円	3円	3円	3円	3円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	1,027円	1,030円	1,033円	1,036円	1,039円	1,040円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

資金動向や市況動向などを考慮しながら、ブラジル債券・ファンドを高位に組み入れて運用を行う方針です。また、国内の短期金融市場動向に加え、資金繰りの状況等を勘案して、短期公社債マザーファンドの組み入れを適宜行う方針です。

### ●ブラジル債券・ファンド

ブラジル経済は、景況感指数が減速傾向ですが、雇用環境は依然改善傾向が続いており、景気刺激策の効果もあるため家計消費中心に底堅く推移すると考えています。債券市場は、中央銀行による利下げ時期や新政権の貧困対策による財政の悪化がどの程度になるのかなどが注目される中、金融、財政政策の今後の動向を睨みながらの展開になると考えています。引き続き、安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルリアル建てのブラジル国債を高位に組み入れる方針です。

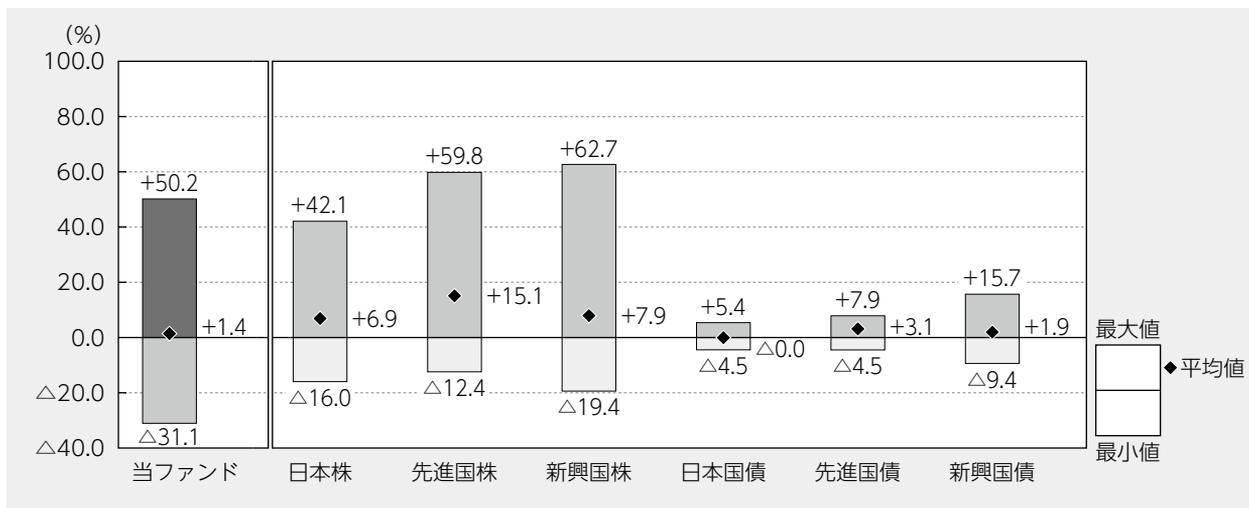
### ●短期公社債マザーファンド

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年12月22日から2023年12月8日まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	新光ブラジル債券ファンド	以下の投資信託証券を通じて、主としてブラジルリアル建てのブラジル国債に実質的に投資を行います。 ブラジル籍外国投資法人 ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの投資証券（ブラジルリアル建） 内国証券投資信託（親投資信託） 短期公社債マザーファンドの受益証券
	ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの投資証券	ブラジルリアル建てのブラジル国債
	短期公社債マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	投資信託証券を通じて、主としてブラジルリアル建てのブラジル国債に実質的に投資を行い、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、ブラジル債券・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2017年12月～2022年11月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2022年12月8日現在）

#### ◆組入ファンド等

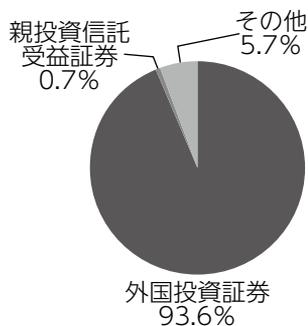
（組入ファンド数：2ファンド）

	第166期末
	2022年12月8日
ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ	93.6%
短期公社債マザーファンド	0.7
その他	5.7

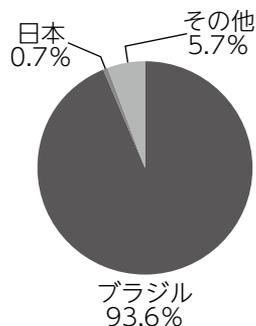
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

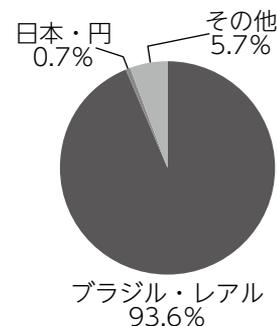
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注3）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

## 純資産等

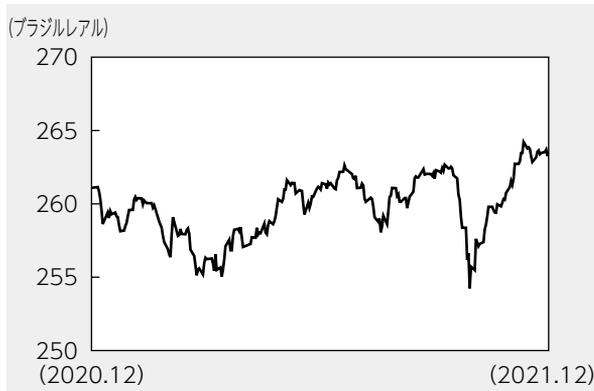
項目	第161期末	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末
	2022年7月8日	2022年8月8日	2022年9月8日	2022年10月11日	2022年11月8日	2022年12月8日
純資産総額	17,308,659,484円	17,638,152,126円	17,933,806,328円	17,860,756,428円	17,534,659,158円	15,911,008,387円
受益権総口数	118,310,335,895口	116,180,964,345口	112,581,932,290口	109,012,853,526口	105,820,271,142口	104,148,354,522口
1万口当たり基準価額	1,463円	1,518円	1,593円	1,638円	1,657円	1,528円

（注）当作成期間（第161期～第166期）中における追加設定元本額は449,498,121円、同解約元本額は20,724,031,516円です。

## 組入ファンドの概要

[ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ] (計算期間 2021年1月1日～2021年12月31日)

### ◆基準価額の推移



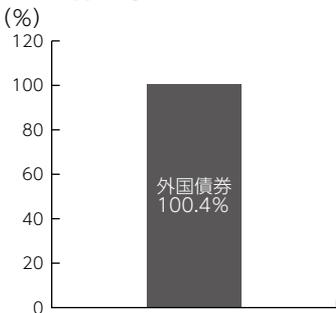
### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	利率	償還年月日	比率
NTN-B (物価連動国債)	5.69%	2022/8/15	25.4%
NTN-B (物価連動国債)	5.08	2026/8/17	14.0
NTN-B (物価連動国債)	5.22	2024/8/15	11.3
NTN-B (物価連動国債)	5.66	2023/5/15	10.0
LTN (割引国債)	11.10	2024/1/2	7.7
NTN-F (利付国債)	10.71	2027/1/4	6.7
NTN-B (物価連動国債)	5.20	2030/8/15	4.1
LFT (変動金利国債)	11.39	2023/9/1	4.1
NTN-B (物価連動国債)	5.45	2050/8/15	3.4
NTN-B (物価連動国債)	5.18	2028/8/15	2.3
組入銘柄数	21銘柄		

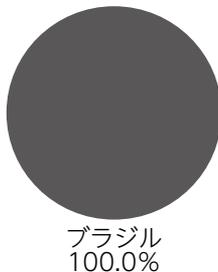
### ◆1万口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

### ◆資産別配分



### ◆国別配分



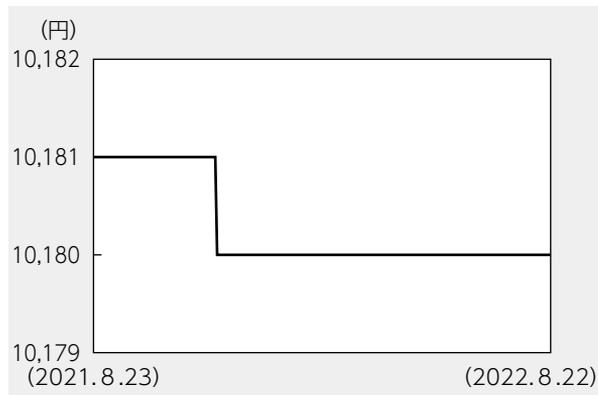
### ◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの計算期間のものであります。また、当期における分配金を再投資したの  
としてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの決算日現在の状況  
を表示しております。
- (注3) 組入上位10銘柄、国別配分、通貨別配分の比率は、ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの組入公社債に対する評価額の割合  
です。
- (注4) 資産別配分は、ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示してあります。
- (注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は、財務書類および、イタウ・ユニバンコ・エス・エーのデータをもとにアセットマ  
ネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されていま  
す。

【短期公社債マザーファンド】（計算期間 2021年8月24日～2022年8月22日）  
2022年8月22日現在、有価証券等の組入れはございません。

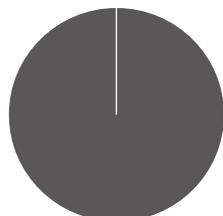
◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

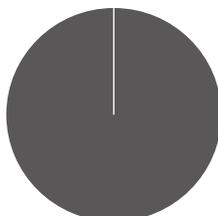
計算期間中に発生した費用はありません。

◆資産別配分



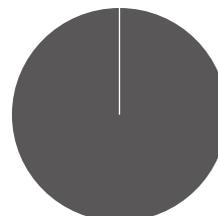
その他  
100.0%

◆国別配分



その他  
100.0%

◆通貨別配分



その他  
100.0%

(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

